

2015/08/25 合同例会 <黒岩会長挨拶>

皆さん、こんばんは。初めての親クラブさんとの合同例会ということでいささか緊張しておりますが、今年度も既に2ヶ月を過ぎようとしております。

クラブの現状を鑑みますと、難しい例会卓話講師の企画は二か月先まで順調進み、会報形式も確立しました。今後は委員会活動を活性化し、会員親睦を図り、充実した1年にしたいと思っております。

2580 地区の増強委員会の方からも何度も「8月は、増強をガンバレ！」という声が多いのですが、私はローターアクトクラブ7年、ロータリークラブ18年合わせて25年も8月は増強に熱中して活動して参りました。

私は以前から、ロータリークラブというのは、「完成された人材はあまり必要ない」と思っています。むしろ未完成の人達がたくさん入って来られて成長し、人に優しくなると言いますか、ロータリークラブに入会して、子供から「お父さん立派になったよ」とか、奥さんから「お父さん、あなた優しくなったわね」とか。職場で社員から「社長、貫禄が出てきましたね」と。

やはりロータリークラブは、そういう効用があるものだと思っております。完成された人々が入会されても、私達は何も教えて差し上げられないわけですね。私たちロータリー評価の鏡は、「家庭・友人・職場、そして社会にある」と思うのです。

私達のクラブは、まだ創立して半年も経過しないクラブではありますが、「未完成の人間…」ほとんどがそういう人達の集まりでございます。

水野パストガバナーがいつも私に「磨き甲斐のある男になれ」とおっしゃっていますが、本当に私は「磨き甲斐のある男・未完成人間」であると思っております。

未完成の人材を歓迎する増強月間があと1週間ございます。皆様更に奮闘されまして「未完成の人々」をご紹介いただきたいと思います。